

メーリング・リスト管理ソフトを ネットエイジが7月に出荷

インターネット関連ビジネスを展開するネットエイジは7月28日から、企業向けのメーリング・リスト管理ソフト「melpod」を出荷する。ユーザー数400万人にまで成長した無料メーリング・リスト・サービス「FreeML.com」の開発経験を生かし、企業向けに売り出す。「社内の連絡手段にメーリング・リストを利用する企業は今後ますます増える」と西川 潔社長は期待する。

melpodは企業向けを意識した各種機能を備える。例えば全文検索機能。「オープンソースのメーリング・リスト管理ソフトで検索機能のあるものはほとんどない」(後藤康成技術開発担当執行役員)。同じメール・アドレスから何

度も同じメールが来るのを防ぐ「SPAMチェック」機能、特定のメール・アドレスからの参加や投稿を拒否する「ブラックリスト」機能なども備える。システム管理者の負担を軽減するため、利用者がメーリング・リストを作ることができるようにした。

Linux版とWindows版がある。価格はサーバー・ライセンスと年間クライアント・ライセンスからなる。サーバー・ライセンスはLinux版が3万8000円、Windows版が5万8000円。年間クライアント・ライセンスはLinux版が5万円(30ユーザーまで)から、Windows版が5万4000円(同)から。

(6/12 本誌Webニュース=矢口)